

企業情報

株式会社クロワッサンサーカス			
所在地	奈良県葛城市弁之庄		
ホームページ URL	https://croissantcircus.co.jp/		
設立年	2013年	業種	サービス業（サーカス）
従業員数	11人	資本金	100万円

企業概要

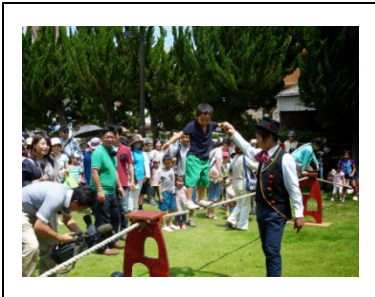
当社は「綱渡り」、「パントマイム」、「ダンス」そして「楽器演奏」などのサーカス公演を行っている会社です。日本全国の催し物（大道芸、国際芸術祭など）会場での公演や、海外フェスティバル（東西ヨーロッパ、東南アジア、中国、アメリカ、中南米など）にも数多く出演しています。一般のお客様に楽しんでいただくことはもちろんですが、福島県の子どものための保養キャンプへ積極的に出演しています。また、太陽光パネルと蓄電バッテリーを本格導入し音響に使用するなどの取り組みをしています。



右はメンバーの集合写真です。

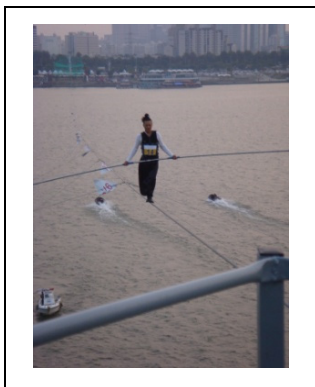
自社の強み

当社は「綱渡り」に関しては他の人に真似ができないまでに練習を積み重ね、また様々な身体技法のワークを取り入れ本番の公演に臨んでいます。生演奏とのアンサンブルにより、お客様の感性にナチュラルにエンターテインメントをお届けしています。また、「高所綱渡り」や「体験綱渡り」に関する設営方法などにおいて様々なスキルとノウハウを有しております。そして、パントマイムやダンスなど楽しい催し物では、子供から大人まで多くの方に喜んでいただいています。



一押し商品

当社の一押しは「綱渡り」です。韓国の漢河1km（高さ25m）を綱渡りで横断した記録を持っています。通常のロープで行うものは「寝る」「胡坐」「ジャグリング」「パントマイム」「ステップ」等の演出です。また、ワイヤーを使用する距離のあるもの（50m）、高さのあるもの（3m～7m）などバラエティに富んだ綱渡りもあります。2名で行うダブルハイワイヤーでは、同じ綱のセンターで2名が交差するなどスリリングな場面もあります。



さらに「生演奏」と「パントマイム」（無言劇）で繰り広げられる演出は、言葉や文化の異なる世界中の人々を魅了するとともに、子どもから大人まで年齢を問わず楽しんで頂けます。

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社はサーカス公演時における新しい演奏方法及びその楽器の発明をされました。それらの特許を取得したいというのが最初の相談でした。「カホン」という楽器をベースにした手作り楽器を持参して窓口に来られ、初めてその演奏を聞きました。今回の工夫により、2倍、3倍の楽器演奏方法ができるようになったことを目の前で示してもらいました。

最初の相談概要

2013年12月に初めて窓口に来られ、サーカス公演中の楽器演奏で行った、いくつかの工夫を権利化するための相談となりました。アイデアが具現化されているので、分かりやすく、すぐに発明を明細書に書いていくことになりました。最初にアイデアを箇条書きにもらい、先行技術調査をしていただきました。先行技術の文献を見つけてもらい、その文献との違いを明確にして、明細書を作成していただきました。

その後の相談概要

初めての明細書作成の過程では、書き方で混乱したり、新しく出てきたアイデアをつけ加えることにより二つの発明が混在したりと、数多くの整理をしてもらいました。「綱渡り」というお仕事の関係で非常に神経を使う時期もありましたが、そのような状態でも前向きに明細書作成を進めて頂き、1年間かけて2014年12月に特許出願に漕ぎつけました。この後すぐに早期審査をするなど、PCT出願を視野に入れた取り組みをされています。

窓口を活用して変わったところ

サーカス公演をする時と明細書を書く時とで、使う脳が違っていると感ながらの明細書作成だったそうです。特許出願で独自性を図りながら、新しい楽器で新しい音楽を演奏し、よりリズムカルな公演とすることで、見ている人に一層の楽しみを与えられると思います。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

担当して頂いた田中さんは、たいへん丁寧に進行状態を説明して下さい、また、弁理士の先生との無料相談会も調整してくれました。知財の専門的な知識もない状態で取り組み始め、1年間かかりましたが、ようやく出願することができました。素晴らしい経験でした。またトライする機会あれば取り組みたいと思います。

窓口担当者から一言（氏名：田中 栄一）



いつも朗らかで、そして優しくな人です。この人が韓国で1km幅の川に張った1本のロープの上を渡り切ったという話を聞き、真剣でないといけない職業にこちらが感銘を受けました。特許が権利化されたら、それを武器に、世界中の公演で活躍されることを祈っています。

窓口支援事例 【奈良県 知財総合支援窓口】

2017年4月27日掲載 旧原稿

企業情報

株式会社クロワッサンサーカス			
所在地	奈良県葛城市弁之庄		
ホームページ URL	http://croissantcircus.co.jp/index.html		
設立年	2013年	業種	サービス業（サーカス）
従業員数	11人	資本金	100万円

企業概要

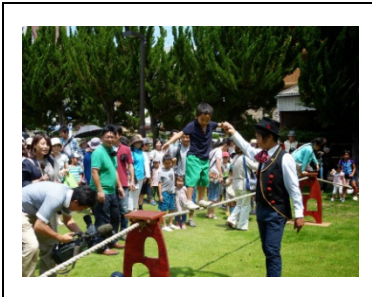
当社は「綱渡り」、「パントマイム」、「ダンス」そして「楽器演奏」などのサーカス公演を行っている会社です。日本全国の催し物（大道芸、国際芸術祭など）会場での公演や、海外フェスティバル（東西ヨーロッパ、東南アジア、中国、アメリカ、中南米など）にも数多く出演しています。一般のお客様に楽しんでいただくことはもちろんですが、福島県の子どものための保養キャンプへ積極的に出演しています。また、太陽光パネルと蓄電バッテリーを本格導入し音響に使用するなどの取り組みをしています。

右はメンバーの集合写真です。



自社の強み

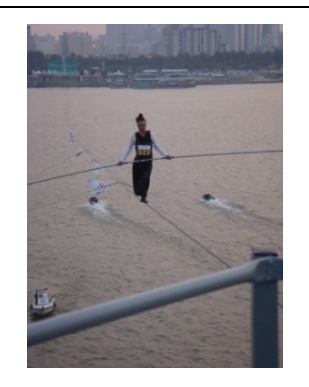
当社は「綱渡り」に関しては他の人に真似ができないまでに練習を積み重ね、また様々な身体技法のワークを取り入れ本番の公演に臨んでいます。生演奏とのアンサンブルにより、お客様の感性にナチュラルにエンターテインメントをお届けしています。また、「高所綱渡り」や「体験綱渡り」に関する設営方法などにおいて様々なスキルとノウハウを有しております。そして、パントマイムやダンスなど楽しい催し物では、子供から大人まで多くの方に喜んでいただいています。



一押し商品

当社の一押しは「綱渡り」です。韓国の漢河1km（高さ25m）を綱渡りで横断した記録を持っています。通常のロープで行うものは「寝る」「胡坐」「ジャグリング」「パントマイム」「ステップ」等の演出です。また、ワイヤーを使用する距離のあるもの（50m）、高さのあるもの（3m～7m）などバラエティに富んだ綱渡りもあります。2名で行うダブルハイワイヤーでは、同じ綱のセンターで2名が交差するなどスリリングな場面もあります。

さらに「生演奏」と「パントマイム」（無言劇）で繰り広げられる演出は、言葉や文化の異なる世界中の人々を魅了するとともに、子どもから大人まで年齢を問わず楽しんで頂けます。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社はサーカス公演時における新しい演奏方法及びその楽器の発明をされました。それらの特許を取得したいというのが最初の相談でした。「カホン」という楽器をベースにした手作り楽器を持参して窓口に来られ、初めてその演奏を聞きました。今回の工夫により、2倍、3倍の楽器演奏方法ができるようになったことを目の前で示してもらいました。

最初の相談概要

2013年12月に初めて窓口に来られ、サーカス公演中の楽器演奏で行った、いくつかの工夫を権利化するための相談となりました。アイデアが具現化されているので、分かりやすく、すぐに発明を明細書に書いていくことになりました。最初にアイデアを箇条書きにもらい、先行技術調査をしていただきました。先行技術の文献を見つけてもらい、その文献との違いを明確にして、明細書を作成していただきました。

その後の相談概要

初めての明細書作成の過程では、書き方で混乱したり、新しく出てきたアイデアをつけ加えることにより二つの発明が混在したりと、数多くの整理をしてもらいました。「綱渡り」というお仕事の関係で非常に神経を使う時期もありましたが、そのような状態でも前向きに明細書作成を進めて頂き、1年間かけて2014年12月に特許出願に漕ぎつけました。この後すぐに早期審査をするなど、PCT出願を視野に入れた取り組みをされています。

窓口を活用して変わったところ

サーカス公演をする時と明細書を書く時とで、使う脳が違っていると感ながらの明細書作成だったそうです。特許出願で独自性を図りながら、新しい楽器で新しい音楽を演奏し、よりリズムカルな公演とすることで、見ている人に一層の楽しさを与えられると思います。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

担当して頂いた田中さんは、たいへん丁寧に進行状態を説明して下さい、また、弁理士の先生との無料相談会も調整してくれました。知財の専門的な知識もない状態で取り組み始め、1年間かかりましたが、ようやく出願することができました。素晴らしい経験でした。またトライする機会あれば取り組みたいと思います。

窓口担当者から一言（氏名：田中 栄一）



いつも朗らかで、そして優しそうな人です。この人が韓国で1km幅の川に張った1本のロープの上を渡り切ったという話を聞き、真剣でないといけない職業にこちらが感銘を受けました。特許が権利化されたら、それを武器に、世界中の公演で活躍されることを祈っています。

窓口支援事例 【奈良県 知財総合支援窓口】

企業情報

シルク・クロワッサン			
所在地	奈良県葛城市弁之庄		
ホームページ URL	http://www.geocities.jp/shimizu_geinin/		
設立年	2013年	業種	サービス業（サーカス）
従業員数	11人	資本金	100万円

企業概要

当社は「綱渡り」、「パントマイム」、「ダンス」そして「楽器演奏」などのサーカス公演を行っている会社です。日本全国の催し物（大道芸、国際芸術祭など）会場での公演や、海外フェスティバル（東西ヨーロッパ、東南アジア、中国、アメリカ、中南米など）にも数多く出演しています。一般のお客様に楽しんでいただくことはもちろんですが、福島県の子どものための保養キャンプへ積極的に出演しています。また、太陽光パネルと蓄電バッテリーを本格導入し音響に使用するなどの取り組みをしています。

右はメンバーの集合写真です。



自社の強み

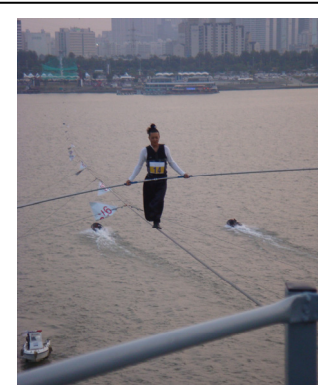
当社は「綱渡り」に関しては他の人に真似ができないまでに練習を積み重ね、また様々な身体技法のワークを取り入れ本番の公演に臨んでいます。生演奏とのアンサンブルにより、お客様の感性にナチュラルにエンターテインメントをお届けしています。また、「高所綱渡り」や「体験綱渡り」に関する設営方法などにおいて様々なスキルとノウハウを有しております。そして、パントマイムやダンスなど楽しい催し物では、子供から大人まで多くの方に喜んでもらっています。



一押し商品

当社の一押しは「綱渡り」です。韓国の漢河1km（高さ25m）を綱渡りで横断した記録を持っています。通常のロープで行うものは「寝る」「胡坐」「ジャグリング」「パントマイム」「ステップ」等の演出です。また、ワイヤーを使用する距離のあるもの（50m）、高さのあるもの（3m～7m）などバラエティに富んだ綱渡りもあります。2名で行うダブルハイワイヤーでは、同じ綱のセンターで2名が交差するなどスリリングな場面もあります。

さらに「生演奏」と「パントマイム」（無言劇）で繰り広げられる演出は、言葉や文化の異なる世界中の人々を魅了するとともに、子どもから大人まで年齢を問わず楽しんで頂けます。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社はサーカス公演時における新しい演奏方法及びその楽器の発明をされました。それらの特許を取得したいというのが最初の相談でした。「カホン」という楽器をベースにした手作り楽器を持参して窓口に来られ、初めてその演奏を聞きました。今回の工夫により、2倍、3倍の楽器演奏方法ができるようになったことを目の前で示してもらいました。

最初の相談概要

2013年12月に初めて窓口に来られ、サーカス公演中の楽器演奏で行った、いくつかの工夫を権利化するための相談となりました。アイデアが具現化されているので、分かりやすく、すぐに発明を明細書に書いていくことになりました。最初にアイデアを箇条書きにもらい、先行技術調査をしていただきました。先行技術の文献を見つけてもらい、その文献との違いを明確にして、明細書を作成していただきました。

その後の相談概要

初めての明細書作成の過程では、書き方で混乱したり、新しく出てきたアイデアをつけ加えることにより二つの発明が混在したりと、数多くの整理をしてもらいました。「綱渡り」というお仕事の関係で非常に神経を使う時期もありましたが、そのような状態でも前向きに明細書作成を進めて頂き、1年間かけて2014年12月に特許出願に漕ぎつけました。この後すぐに早期審査をするなど、PCT出願を視野に入れた取り組みをされています。

窓口を活用して変わったところ

サーカス公演をする時と明細書を書く時とで、使う脳が違っていると感ながらの明細書作成だったそうです。特許出願で独自性を図りながら、新しい楽器で新しい音楽を演奏し、よりリズムカルな公演とすることで、見ている人に一層の楽しさを与えられると思います。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

担当して頂いた田中さんは、たいへん丁寧に進行状態を説明して下さい、また、弁理士の先生との無料相談会も調整してくれました。知財の専門的な知識もない状態で取り組み始め、1年間かかりましたが、ようやく出願することができました。素晴らしい経験でした。またトライする機会あれば取り組みたいと思います。

窓口担当者から一言（氏名：田中 栄一）



いつも朗らかで、そして優しくそうな人です。この人が韓国で1km幅の川に張った1本のロープの上を渡り切ったという話を聞き、真剣でないといけない職業にこちらが感銘を受けました。特許が権利化されたら、それを武器に、世界中の公演で活躍されることを祈っています。